

「株式会社 姫路シティ FM21」

第51回 放送番組審議機関 審議会議事録

1. 開催日時 平成25年3月9日(土曜日) 午後1時30分～午後3時

2. 開催場所 イーグレひめじ セミナー室

3. 出席状況

1) 委員総数 11名

2) 出席委員数 5名

3) 出席委員の氏名(敬称略、順不同)

有馬 妙子	井上 悠	岩成 孝	梅田 裕二
大谷 昭仁	岸田 直美	衣笠 愛之	楠田 孝蔵
柳谷 郁子			

4) 欠席委員の氏名(敬称略、順不同)

井上 重義 宮本 節子

5) 会社側出席者氏名

黒田 俊雄	(常務取締役 営業部長)
小幡 博	(営業企画部 課長)
小林 寛幸	(放送総務部 編成制作担当)

4. 議題

1) 事務局より挨拶

2) 資料説明

3) 試聴

4) 意見交換

委員 iPhoneで聴くためには350円必要なのか？

事務局 アプリを最初に購入するときだけに350円必要。以降のバージョンアップは無償。

委員 今日も大手前公園でイベントをしているが、観光の番組はないのか？

事務局 毎週金曜日の朝8時10分から「姫路観光インフォメーション」としてやっ

ている。

委員 観光客は聞かない時間帯ではないか？

事務局 番組自体はインターネットでいつでも聞くことができる。毎週、担当者が出演しているので、聴きごたえもある。この時間帯はリスナーも多いので市民への周知にもなっている。

事務局 イベント情報としては、土日の朝にやっている。新しい試みとしては、日曜日の1時過ぎにも「昼下がりのイベント情報」として、午後から行けるイベント・催事を紹介している。また、FMゲンキのホームページで「姫路・西播磨のイベント情報」として、カレンダー形式で周辺地域のイベントを紹介している。さまざまなイベントを日別に見ることができるのでアクセスも多い。他には、パーソナリティがそれぞれの話題の中で行っている。本日も大手前公園のイベントについて、話していた。

委員長 去年の今頃は、各企業ともに財布の紐が固くなっているという話だったが最近はどうか？

事務局 厳しい。

委員 最近神姫バスやヤマサ蒲鉾などが農業を始めている。安全安心に加えて観光客への魅力という視点も持っているようだ。

委員 大河ドラマへの取り組みは考えているのか？

事務局 レギュラー的な取り組みが必要だと考えているので、柳谷委員のご協力をいただきたい。

委員 観光といっても、夜にお土産も買えないし食事もできない。観光客の受け入れ態勢がない。

委員 観光客がいらっしゃるのに、何もないというのはどうか。商店街も8時9時までやってくれたらよいのだが。

委員 官兵衛グッズの紹介をしてほしい。和菓子屋でもいろいろ作っている。それを紹介するようなコーナーをつくって、スポンサーをとってはどうか？毎月1万円、1年で12万円ということであれば、お金も出しやすい。持掛け方を工夫すべきだ。

委員 あるお店と話をしていたら、向こうもPRの仕方を知らないようだ。FMゲンキからアプローチをするべきである。

委員長 FMゲンキではブームにのっかって事業につなげるということはあったのか？

事務局 菓子博など単発の動きは過去にあった。ドラマ館などになると、NHKさんなどの範疇になってくる。

委員長 先日、うちで官兵衛に関する勉強会をおこなったが、満員になった。特に播磨灘物語では浄土真宗は歴史的な対立であり、官兵衛側とは敵対関係となっている。これほどにも関心を持つ人が多いのかと新鮮に感じた。

委員 バスで50人100人がやっても食事をする場所がない。観光客むけに企業はもっと投資してほしい。

委員長 駅前の完成もあり、色々なことが集中する時期である。

委員 受け入れる人が勉強しないとイケない。車の歩行者に対するマナーも悪い。もてなすという心が無いように感じる。

委員 FMゲンキで一番おもしろいパーソナリティはだれか？そういう人がお笑い系でマナーを告知すれば嫌みがない。

委員 FMゲンキにはスターがいない。

委員 スターは作ってイケる。

委員長 フリーマガジンほどの世代が読んでいるのか？若い世代か？

事務局 中高年もいる。

委員長 私もそうなのだが、字が小さいのではないか。これぐらいの大きさがベストなのか？冊子サイズも含めて。

事務局 サイズ変更も検討しているがコストの問題もあるので今後の課題です。

委員長 発行部数は？

事務局 5万部です。

事務局 先ほどのマナーの話にも関係するが、フリーマガジンでも市民から交通安全に関する事柄を募集して掲載したり、ラジオCMなどで告知したりもしている。

委員 FMゲンキのシール、車に貼っている人がいない。

事務局 現在はバンパーに貼るようなステッカーはやめている。鞆に貼ったり冷蔵庫に貼ったりするようだ。子供にも人気がある。

事務局 番組審議会でご提案いただいた通り、「防災情報はFMゲンキで」という周波数を明示したシールも作った。

委員 若い人がスマートフォン等に貼ったりできるようなものがあればいい。

委員 大きいサイズは貼る場所がない。小さなものであれば手紙を書いた時に貼ったりできると思うが・・・。

事務局 抜く型を同一にし、デザインのみを変更してコストダウンをしている。サイズを変えるためには、別途コストがかかるので、今後の課題にしたい。

委員長 スマートフォンは、若い人はみんな持っている。瞬発的に普及したと感じる。若い人はうまく使っているのか？

委員 インターネットを見ることができなのがメリット。

委員長 IT関連の技術進歩がすごい。放送局でもそのような人を養成しないとついていけない。パソコンがメインかもしれないが、若い人はスマートフォンがメインではないか。

委員 スマートフォンを買った人は、パソコンを見る時間が減ったとっている。

委員 消防局との連携について。消防局の近くにFMゲンキのスタジオをつくるということはあるのか？

事務局 放送用のスタジオというわけではないが、FMゲンキと回線がつながっている装置が指令課と危機管理室にあるので、そこから放送することができる。ただし、回線自体はイーグレにきているので、イーグレが水没

した場合は使えない。

委員長 ハザードマップとしてはどうか？

事務局 津波の影響はないが、市川が溢れると50cmの浸水となっている。その場合は、送信所にいかなくてはならない。

委員 防災情報を流すときはスポンサーが無くなったり、人をいれたりしてコストがかかると思うが、市とは話をしているのか？

事務局 臨時災害局になった場合は、相応の負担を考えてほしいという申し入れはしている。発電機の燃料についても支給してもらえるように確認をしている。

午後3時、以上の報告・討議・検討を終了し、閉会した。

公表年月日 平成25年4月8日

公表内容 審議の概要

公表方法 事務所据え置き、ホームページ (<http://fmgenki.jp>)
 自社放送内「きまぐれ日曜日 (2013年4月7日午後4時)」

以上